

豊かなつながりをめざして！ 小郡市の「人権のまちづくり」③

— 大原中学校区の取り組み —

小郡市の人権のまちづくり

・ 誰もの願いを実現できるまち
・ 人と人が豊かに出会えるまち
・ 人のぬくもりを大切にできるまち
小郡市では、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指して、「人権のまちづくり」に取り組んでいます。

現在、市内全ての中学校校区に推進連絡会ができています。

今回は、1999年に「人権のまちづくり」が立ち上がった大原中学校区の取り組みをご紹介します。

第10回リバイフェスタ

みなさんは、「リバイフェスタ」を知っていますか？「リバイフェスタ」は、大原中学校区「人権のまちづくり」のメイン行事です。



大原中学校区では、近年、次のような声が聞かれるようになりました。

「昔、子ども達は、近所のおじさんに怒られたり、近所どうし面倒をみたりしたが、今は、近所の子になかなか注意できないし、近所づきあいも前より少なくなった・・・」

そこで、大原中学校区では、家庭・学校・地域が子どもを中心にすえ、校区に住むいろいろな人々が豊かで確かなつながりをつくり、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、生き生きとくらせるまちづくりをめざしています。

昨年の「リバイフェスタ」は、「みんなの笑顔を持ち寄って」をスローガンに11月14日(土)に実施。第10回の記念大会で、三輪太鼓の力強い演奏も華をそえ賑やかなものとなりました。校区の小中学校や幼稚園・保育園の子どもたちをはじめ、地域からも、いろいろな団体やいろいろな年齢層の700人をこえる参加がありました。

バザーや体験コーナー、ステージや展示による発表では、互いに知り合い、観たり聞いたり、話したりする機会を持ち、この校区でいろいろな人が頑張っていることを感じることができました。

ゴリリンクラブ
体験コーナー



東野小六年
ステージ発表



大原中学校
バザー



大原小三年
ステージ発表



ソフトバレーボール交流会

他に、大原小と東野小の六年生でソフトバレーボールの交流会を持ち、試合などを通して、お互いに知り合い、声を掛け合い、来年度、ともに大原中で学ぶ仲間として交流を深めることができました。

講演会（育成会との共催）

青少年育成会との共催で、北九州のホームレス支援機構の奥田知志さんをお迎えし、「つながりを求めて」というテーマでお話を聞きました。「一時期、巷では自己責任という言葉が頻繁に聞かれたが、人は一人だけでは（自分だけの責任では）生きられない。互いに関わり、つながり、みんな生きていく。人に『助け』を求めることができ、その求めに応じることができると社会でありたい・・・」と熱く語られました。これからも、大原中学校区の「人権のまちづくり」の取り組みをいろいろな方に、さらに知らせ、それぞれの立場から発信し合い、共に動いていく必要があります。また、地域には、私たちが知らないところで、いろいろな人が輝くために活躍している人もいらつしやることでしょう。みなさん、ぜひ一緒に大原中学校区に、人権のつながりを広げ、すべての人が生き生きと暮らせるまちをつくりましょう。